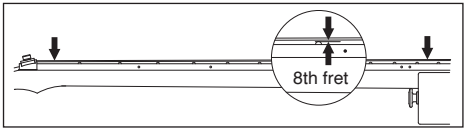
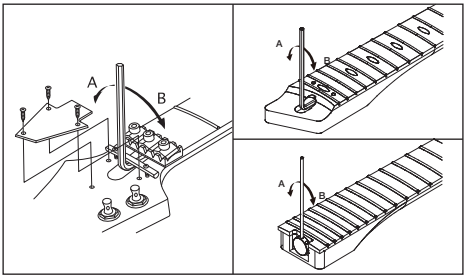
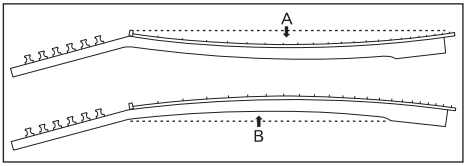
ネック調整

ネックには常に弦の張力がかかっており、チューニングの状態や弦のゲージを変更したときだけでなく、温度や湿度の変化によっても反り具合が微妙に変化します。適正な弦高調整とチューニングを行ってもビレや音詰まりが発生する場合は、ネックの反り具合を確認し、調整する必要があります。







1. **ネックの状態を確認します。正確にチューニングを行った後、演奏時の状態にギターを持ち、1弦の1フレットと、ネックとボディの接合部分に最も近いフレットの両方を押さえた状態で、8フレットでの弦とフレットとの隙間を測ります。同様に最低音弦でも測定し、それぞれの隙間が0.3mm～0.5mmになるように調整します。**

2. **隙間が0.3mmよりも小さい場合は、ネックのヘッド側、もしくは付け根側に取り付けられたアジャストナットを付属ツールを使用してA方向へ回して、ネックを順反り方向へ動かします。**

3. **隙間が0.5mmよりも大きい場合は、アジャストナットをB方向に回して、ネックを逆反り方向に動かします。**

※ アジャストナットは1/4回転を目安に、チューニングを確認しながら少しずつ行ってください。